

令和8年度 第1回 高知支部評議会

令和7年度 事業報告について

令和8年7月15日



目 次

令和7年度重要業績評価指標 K P I 達成状況 -----	3 ～ 5
I. 基盤的保険者機能	
・ サービス水準の向上 -----	6 ～ 7
・ 現金給付の適正化の推進 -----	8
・ 被扶養者資格の再確認の徹底 -----	9
・ 柔道整復施術療養費の照会業務の強化 -----	10
・ I C T 化の推進 -----	11
・ レセプト点検の精度向上 -----	12 ～ 13
・ 債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化 -----	14 ～ 15
II. 戦略的保険者機能	
・ 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上 -----	16 ～ 19
・ 特定保健指導の実施率の向上 -----	20 ～ 21
・ 重症化予防対策の推進 -----	22 ～ 23
・ コラボヘルスの推進 -----	24 ～ 25
・ 広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進 -----	26 ～ 28
・ ジェネリック医薬品の使用促進 -----	29 ～ 31
・ インセンティブ制度の実施及び検証 -----	32 ～ 33
・ 地域の医療提供体制等へのデータを活用した意見発信 -----	34
III. 組織運営体制	
・ 組織・運営体制関係 -----	35
・ 費用対効果を踏まえたコスト削減等 -----	36

令和7年度 重要業績評価指標 K P I 達成状況（基盤的保険者機能）

具体的施策	K P I 設定項目		結 果	達成状況
サービス水準の向上	【業務G】 サービススタンダードの達成状況（給付金申請書受付日から10営業日以内の支給）	100%	100%	達成
	【業務G】 サービススタンダードの平均所要日数7日以内を維持	7日以内	4.78日	達成
	【業務G】 現金給付等の申請に係る窓口受付率	12.4%以下	10.9%	達成
レセプト点検の精度向上	【レセプトG】 協会のレセプト点検の査定率(※)について前年度以上とする (※) 査定率 = 協会のレセプト点検により査定（減額）した額 ÷ 協会の医療費総額	0.134%以上	0.124%	未達成
	【レセプトG】 協会の再審査レセプト1件当たりの査定額を前年度以上とする	5,467円以上	6,284円	達成
債権管理・回収と返納金 債権発生防止の強化	【レセプトG】 返納金債権（診療報酬返還金（不当請求）を除く。）の回収率を前年度以上とする	76.45%以上	84.96%	達成

令和7年度 重要業績評価指標 K P I 達成状況（戦略的保険者機能）

具体的施策	K P I 設定項目		結 果	達成状況
特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	【保健G】 生活習慣病予防健診受診率	72.6%以上	68.9%	未達成
	【保健G】 事業者健診データ取得率	7.7%以上	7.2%	未達成
	【保健G】 被扶養者の特定健診受診率	32.8%以上	30.3%	未達成
特定保健指導の実施率の向上	【保健G】 ①被保険者の特定保健指導の実施率	20.5%以上	18.3%	未達成
	【保健G】 ②被扶養者の特定保健指導の実施率	20.6%以上	16.3%	未達成
重症化予防対策の推進	【保健G】 健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合	33.4%以上	33.8%	達成
コラボヘルスの推進	【企画総務G】 健康宣言事業所数	970事業所以上	922事業所	未達成
広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進	【企画総務G】 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	59.3%以上	60.4% (令和7年12月現在)	達成
	【企画総務G】 健康保険委員の委嘱事業所数	1,965 事業所以上	2,040 事業所	達成

令和7年度 重要業績評価指標 K P I 達成状況（戦略的保険者機能）

具体的施策	K P I 設定項目		結 果	達成状況
ジェネリック医薬品の 使用促進	【企画総務G】 協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合	86.2%以上	88.2% (令和8年1月現在)	達成

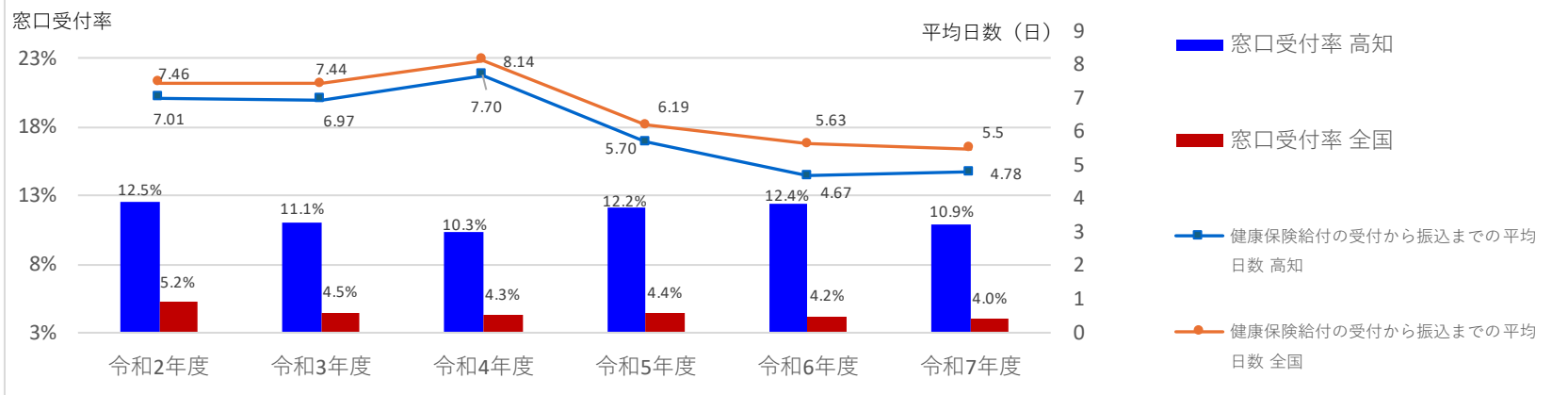
令和7年度 重要業績評価指標 K P I 達成状況（組織・運営体制）

具体的施策	K P I 設定項目		結 果	達成状況
費用対効果を踏まえた コスト削減等	【企画総務G】 一般競争入札に占める一者応札案件の割合	15%以下 ※入札案件4件以下 の場合は、1件以下	0% (0件/3件)	達成

I. 基盤的保険者機能（サービス水準の向上）

目的	①②速やかな給付金（傷病手当金や出産手当金など）の支払い ③加入者・事業主の利便性の向上や負担軽減の観点から、電子申請・郵送による申請を促進する		
KPI 目標	【業務G】 ①サービススタンダード（※）の達成状況を100%とする ②サービススタンダードの平均所要日数7日以内を維持する。 ③現金給付等の申請書類に係る窓口での受付率を12.4%以下とする。 （※）傷病手当金など加入者にとって緊急性がある給付金については、受付から10営業日以内に支給を行なうこととしています。	KPI 結果	① 100 % ② 4.78 日 ③ 10.9 %
取組 内容	①②速やかな給付金の支払い ● 社労士会へ訪問し記載事項の徹底を依頼、また、社労士や事業所への電話指導を都度実施した。 ● 広報紙で申請書の記入のポイントや注意事項を周知し、不備による返戻防止を図った。 ③現金給付等の申請に係る窓口受付率 ● 社労士会や関係団体へ訪問し、電子申請等の周知・推進を依頼。 ● 高知市役所や年金事務所へポスター掲示と電子申請チラシの配布を依頼した。 ● 電話でのお問い合わせ対応時に、電子申請や郵送による申請を案内することを徹底。 ● 窓口に申請書受付箱を設置。 ● 大規模事業所・市町村役場に対しての任継申請案内の送付（被保険者数50名以上の482事業所、34市町村役場国保担当） 任継案内チラシ（電子申請案内版にリニューアル）、申請書等を送付し、電子申請・郵送による手続きを案内。（R8.3月）		
評価 結果	①②サービススタンダードの達成状況・平均所要日数 ● KPI目標を達成 ③現金給付等の申請に係る窓口受付率 ● KPIは達成したが10%未満には至らなかった。	自己 評価 ●：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	① ○ ② ○ ③ ○

健康保険給付の受付から振込までの日数の目標の達成率・窓口受付率



健康保険給付の受付から振込までの日数の目標の達成率

令和8年3月時点

(サービススタンダード)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
健康保険給付の受付から振込までの日数の目標の達成率	高知	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	全国	99.92%	99.99%	99.99%	99.99%	100%	99.99%
健康保険給付の受付から振込までの平均日数	高知	7.01	6.97	7.70	5.70	4.67	4.78
	全国	7.46	7.44	8.14	6.19	5.63	5.5

窓口での受付率

令和8年3月時点

(申請書受付 窓口)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
窓口受付率	高知	12.5%	11.1%	10.3%	12.2%	12.4%	10.9%
	全国	5.2%	4.5%	4.3%	4.4%	4.2%	4.0%

I. 基盤的保険者機能（現金給付の適正化の推進）

目的	傷病手当金などの現金給付の支給決定データ等の分析などにより、不正の疑いが生じた申請については、支給の可否を再確認するとともに、毎月開催の保険給付適正化プロジェクト会議において内容を精査し、事業主への立入検査を実施するなど、厳正に対応する。		
KPI 目標	【業務G】 ・設定なし	KPI 結果	—
取組 内容	●資格喪失後に傷病手当金等を継続して受給している者が再就職している事案や、支給決定日額の算出の基となる直近12ヶ月間の標準報酬月額月初月と最終月の等級が大きく乖離している事案、資格取得から請求までの期間が30日未満の事案についてシステムにより抽出し（164件）、事後調査を実施した。 ・調査内容を給付適正化プロジェクト会議（※）に報告 ⇒ すべて適正と判断された。 （※）支部長以下、高知支部幹部がメンバーとなり、支給決定した給付金等が真に適正なものであるかの事後検証を毎月行なっています。例えば給付金目的で報酬を不当に高く設定しているような疑いが持たれる場合、会議の議決に基づいて、事業所の実地調査を行なうなどの取り組みを行ないます。 ●審査医師を積極的に活用し、健康保険給付の申請内容に関して医学的な助言等を求めた。 ●疑義がある事業所には定期的に接触を図り、適正化を図った。 ●本部から提供される傷病手当金と障害年金等との併給調整対象データについて、事務処理手順書に基づき、確実な調整を実施した。 （R7年度返納金調定：77件 11,825,143円） （R6年度返納金調定：77件 12,640,107円）		
評価 結果	●更正リストによる併給調整は、データ配信後速やかに対象者一覧表を出力し、更正処理担当者に処理を指示、遅滞しないよう管理を行った。 ●システムを活用した分析を毎月確実に実施し内容を精査のうえ、毎月開催の給付適正化PTに諮った。	自己 評価	○

○：目標を大きく上回った
○：目標は概ね達成した
△：目標を達成できていない

I. 基盤的保険者機能（被扶養者資格の再確認の徹底）

目的	本来扶養家族の要件を満たさない方による無資格受診の防止を図る。また、加入者数の適正化を図ることで、医療費や高齢者医療制度への拠出金等の負担軽減につながり、財政の健全性を確保するうえで重要な取り組みとなる。		
目標	【業務G】 KPI：設定なし 目標：被扶養者資格の再確認対象事業所からの確認書の提出率を前年度（93.8%）以上とする	結果	91.5 % (前年度93.8%)
取組内容	●令和7年度は、被扶養者資格が解除となる可能性の高い対象者を絞って送付。 (令和7年) 対象 1,810事業所 再確認対象者 2,927人 (令和6年) 対象 7,133事業所 再確認対象者 32,517人 ●未提出事業所への提出勧奨を効率的に実施。 ・業務グループ職員による事業所への電話勧奨の実施。(102事業所)		
評価結果	●目標には一步届かなかったが、全国平均も令和6年度88.4%から84.33%に減少している。 ●結果の91.5%は全国9位の実績であり、解除人数からも効率的に実施できたと考え、目標を概ね達成できたと評価したい。 ●異動届解除人数（高知支部） (令和7年) 244人 (令和6年) 360人 «全国の実績» ○扶養解除者数：188,085人 ○前期高齢者納付金の負担軽減額：約6億円（推計）	自己評価	◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない ○

I. 基盤的保険者機能（柔道整復施術療養費の照会業務の強化）

目的	施術の不要な部位や不必要な期間がないかなど、不正受給がないかを確認し、医療費の支出を抑制する。		
目標	【業務G】 KPI：設定なし 目標：柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合について、対前年度（0.44%）以下とする（※） （※）不要な部位や不必要な期間の施術など、不正が行われていないかを確認し、医療費の支出を抑制するための目標です。	結果	0.37 % (前年度0.44%)
取組内容	●多部位【施術箇所が3部位以上】かつ、頻回【施術日数が月15日以上】の申請や長期施術等を対象に受診者に対する照会文書の送付。（R7年度：824件、前年度：808件） ※3部位15日以上が多い施術所をデータにより抽出し、2部位6日以上または全件の患者照会を実施。 ●すべての施術所に「柔道整復師施術療養費の申請における留意点等」を記載した通知書を送付。 ●高知県柔整師会会長と注意が必要な施術所への対応についての打ち合わせや、3部位15日以上が多い施術所をデータにより抽出し確認するなど、関係団体と連携を密にし、適正化を図った。		
評価結果	上記の取り組みにより、目標達成。 令和8年3月分の3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合は0.17%まで減少。 ・請求件数：66,784件（前年度：67,916件） ・3部位15日以上：245件（前年度：298件）	自己評価	○ ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない

I. 基盤的保険者機能（ICT化の推進）

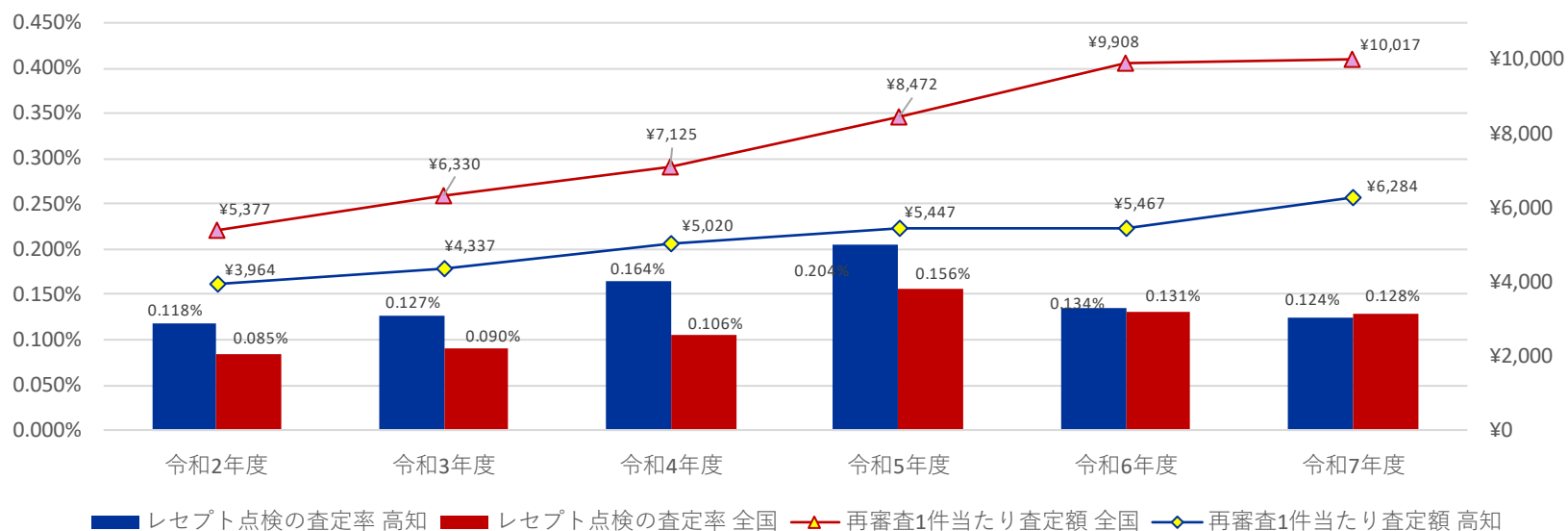
目的	・オンライン資格確認、マイナンバーカードと健康保険証の一体化、健康・診療情報の共有などを通じて、医療サービスの質向上・効率化・患者負担の軽減を図るデジタル化の推進を目指す。（医療DX） ・加入者の利便性の向上や負担軽減の観点から、令和8年1月の電子申請等の導入について、周知広報を行う。		
KPI 目標	【業務G】 設定なし	KPI 結果	—
取組 内容	i) オンライン資格確認等システムの周知徹底 ii) マイナンバーカードと健康保険証の一体化への対応 ●社労士会、商工会連合会等を訪問し、資格確認書一括送付についての説明および協力依頼をおこなった。 ●各種広報媒体、メルマガ、HP、その他各種説明会等を活用した広報により周知を図った。 ・納入告知書に同封するチラシに「マイナ保険証コーナー」等の記事を掲載。（R7.5月、6月、10月、11月号） ・メールマガジンにマイナ保険証関連記事を掲載。（R7.5月、6月、8月、12月、R8.1月号） iii) 電子申請等の導入 ●社労士会や関係団体、義肢製作所等を訪問し概要説明や実践を行い、積極的な活用への周知を依頼した。 ●高知市役所や年金事務所へはポスター掲示とチラシの配布を依頼した。 ●各種広報媒体、メルマガ、HP、その他各種説明会等を活用した広報により周知を図った。 ・納入告知書に同封するチラシに電子申請の記事を掲載。（R7.11月、R8.1月、3月号） ・メールマガジンに電子申請の記事を掲載。（R7.11月、12月、R8.1月、2月号）		
評価 結果	・マイナ保険証切り替えの状況（全保険者分）（R8.4月末） - マイナカード保有率：全人口の82.7%（高知県：77.7% 46位） - マイナ保険証利用率：68.15%（高知県：59.05% 46位） ※利用率＝マイナ保険証利用人数÷レセプト件数 ・電子申請利用率（R8.5月末） - 協会平均：8.2%（高知支部：6.1%）	自己 評価	△

◎：目標を大きく上回った
○：目標は概ね達成した
△：目標を達成できていない

I. 基盤的保険者機能（レセプト点検の精度向上）

目的	レセプト点検の精度を向上させることで、不適切な請求の発見や医療費の適正化を図り、健康保険制度の公正性と信頼性を確保する。		
KPI 目標	【レセプトG】 ①協会のレセプト点検の査定率（※）について0.134%以上とする ②協会の再審査レセプト1件当たりの査定額を5,467円以上とする （※）査定率とは、言い換えますと、保険請求として認めるべきではないレセプトの「発見率」です。医療機関等から請求を受けたレセプトを事後に点検し、不当なものについては支払いを行わないことで、医療費抑制に寄与しています。	KPI 結果	① 0.124% ② 6,284円
取組 内容	●「レセプト内容点検行動計画」に基づき重点4方針（システム点検の効率化、高点数レセプトの点検等、点検員のスキルアップ、支払基金との協議等）を確実に取り組み、毎月の取組内容を確認のうえ翌月以降の取組みに活かした。 ●点検員毎の再審査請求結果（診療観点）を分析し、点検員の点検傾向と得意・不得手を把握し、毎月の面談指導において点検員の目標達成の支援を行った。また、点検員に求められるKPIの事業実施状況を共有し、成績向上に向けた意識付けを図った。 ●支払基金協議（毎月実施）にあたり、点検員全体で協議事例の見解と優先順位を共有し、支部としての統一見解を定めたうえで協議するよう準備を進めた。		
評価 結果	●査定率については、数値目標は達成できなかった。 ・査定率：0.124%（対前年度比 ▲0.009%） ・全国順位：21位 ※協会の査定率は、システム精度や点検員スキル向上により、既に高い水準に達している。また、レセプト作成の場でコンピューター化が進み、一次審査を行っている支払基金の審査（AIの活用）も充実していることから、全国的にKPIを達成することは困難度が高い状況。 ●再審査レセプト1件当たりの査定額については、数値目標は達成した。 ・査定額：6,284円（対前年度比 +817円） ・全国順位：39位 ※査定額の高い上位診療項目や点検員ごとの点数分布表等に基づき高点数レセプトへの重点点検を指示し、高額レセプトの確認を徹底している状況。		◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない △

レセプト点検の査定率および再審査1件当たり査定額の推移



		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
レセプト点検の査定率	高知	0.118%	0.127%	0.164%	0.204%	0.134%	0.124%
	全国	0.085%	0.090%	0.106%	0.156%	0.131%	0.128%
再審査1件当たり査定額	高知	¥3,964	¥4,337	¥5,020	¥5,447	¥5,467	¥6,284
	全国	¥5,377	¥6,330	¥7,125	¥8,472	¥9,908	¥10,017

I. 基盤的保険者機能（債権管理・回収と返納金債権発生防止の強化）

目的 限られた財源を有効に活用し、制度の信頼性を維持するためにも、返納金債権を確実に回収する必要がある。

KPI
目標

【レセプトG】

返納金債権（診療報酬返還金（不当請求）を除く。）の回収率を76.45%以上とする

KPI
結果

84.96%

取組
内容

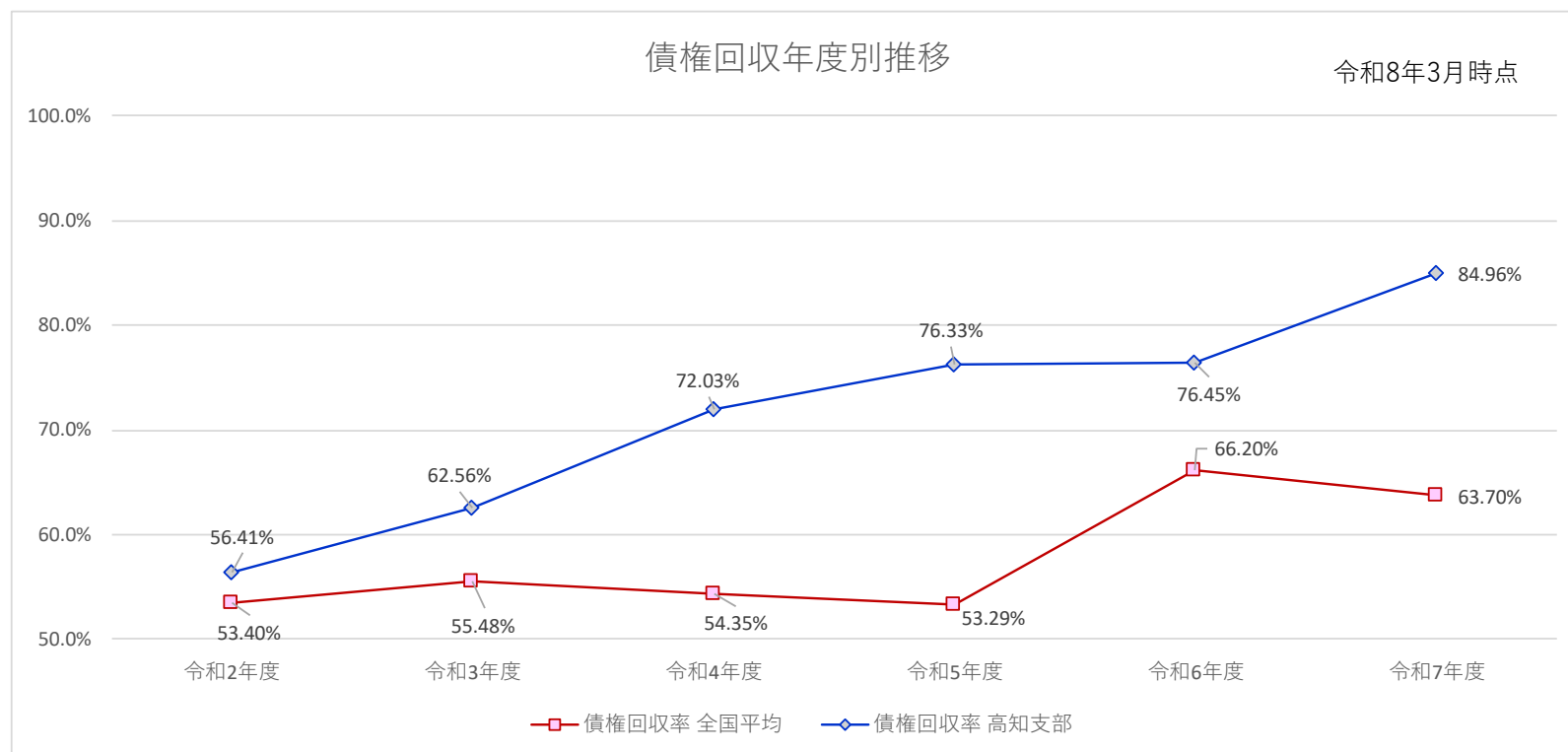
- 債権管理業務として、債権の発生時期や金額、債務者の状況による取り組みの優先順位を明確にし、早期に効果的な納付勧奨を実施した。
また、10万円を超える高額債権については別管理し、支部全体で対応方法を協議したほか、全案件に関して債権管理分類・催告事跡・債務者からの反応等を確実にシステム登録して進捗管理の徹底を図った。
- 債権回収業務として、新規発生債権の早期回収を最優先に回収業務を実施。弁護士催告から法的措置までの流れをルール化して、無反応な債務者にも徹底した催告を実施した。
また、請求時効が経過している債権を除き、調定・催告時には保険者間調整の利用勧奨チラシを同封し、文書に加えて電話による利用勧奨も併せて実施した。

評価
結果

- 返納金債権の回収率については、数値目標を達成した。
 - ・返納金回収率：84.96%（対前年度比 +8.51%）
 - ・全国順位：5位
 ※債権発生時の初動対応に重点を置き、保険者間調整や弁護士催告、法的措置の積極利用を徹底したことで、前年度より回収率が大幅に上昇した。
- ＜催告実施状況＞
 - 保険者間調整：実施件数154件（目標件数108件）
 - 法的措置：支払督促24件（前年度2件）、強制執行11件（前年度5件）
 - 支払督促24件のうち8件は強制執行までに完納となり、早期回収につながた。

◎：目標を大きく上回った
○：目標は概ね達成した
△：目標を達成できていない



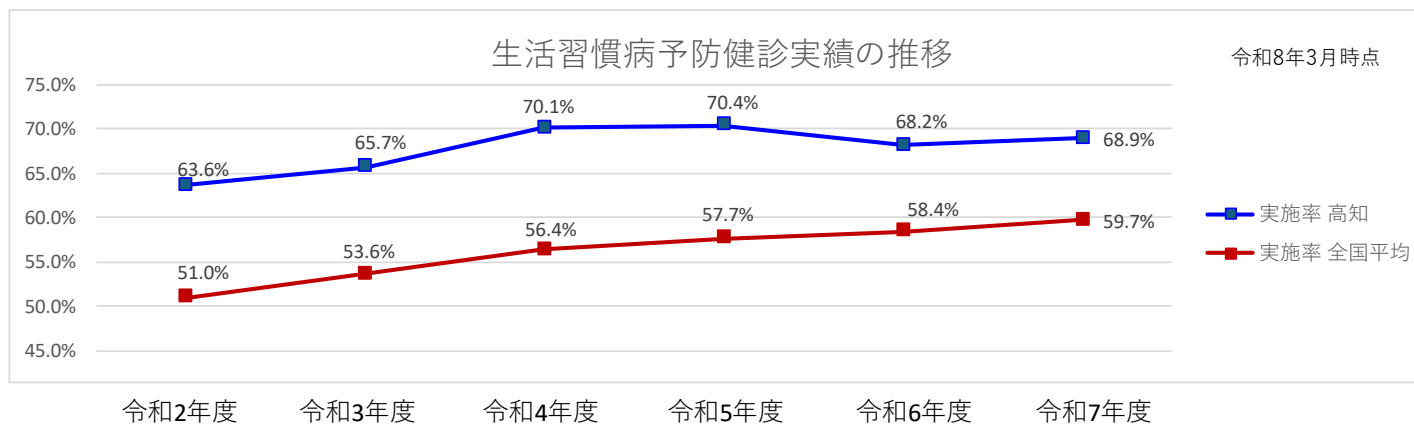


		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
債権回収率	全国平均	53.40%	55.48%	54.35%	53.29%	66.20%	63.70%
	高知支部	56.41%	62.56%	72.03%	76.33%	76.45%	84.96%
	KPI	69.03%	56.41%	62.56%	72.03%	82.26%	76.45%

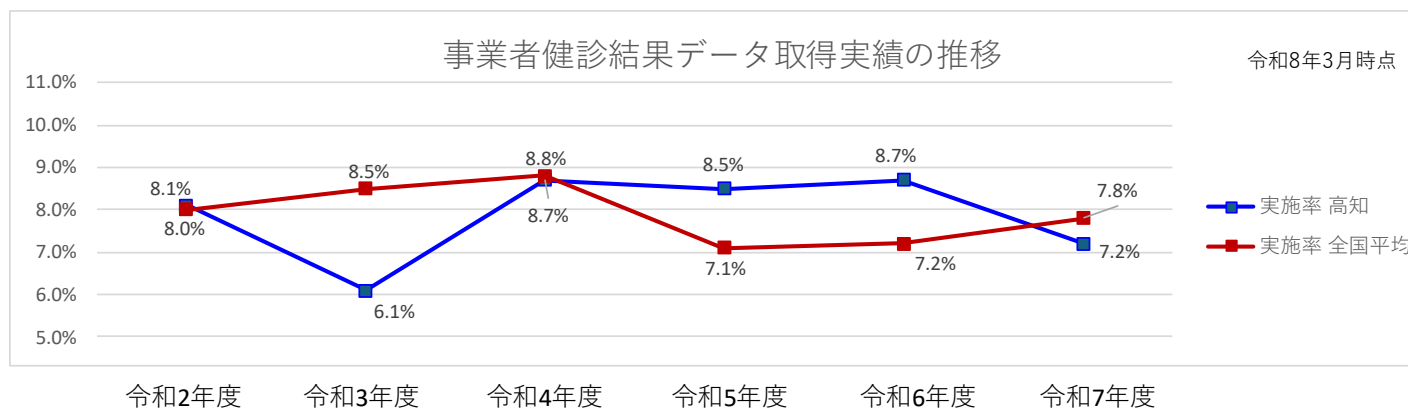
Ⅱ. 戦略的保険者機能（特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上）

目的	健診受診率を向上させることで、生活習慣病の早期発見・予防につながり、健康寿命の延伸と医療費の適正化が期待できる。		
KPI 目標	【保健G】 ① 生活習慣病予防健診受診率 72.6%以上 ② 事業者健診データ取得率 7.7%以上 ③ 被扶養者の特定健診受診率 32.8%以上	KPI 結果	① 68.9 % ② 7.2 % ③ 30.3 %
取組 内容	① 閑散期対策として評価期間（４～６月）の目標件数を超過した件数に報奨金を支払う契約により健診実施数の向上を図った。 ② 事業者健診データ取得については、外部委託を活用し、継続的な働きかけを行うことでデータ取得率向上を図った。 ※P19左チラシ参照 ③ 特定健診の集団健診（がん検診同時）を県内各地で実施したほか、市町村集団健診や未受診者への受診勧奨対策などを実施した。 ※P19右チラシ参照		
評価 結果	① 10機関とインセンティブ契約を締結し、うち7機関が目標を達成した。（前年度比＋474件） ② 外部委託データ取得4,616件。（前年度比▲773件） 減少に対する令和８年度対策：定例ミーティングにより進捗管理を徹する。また、十分な委託期間を確保する。（10か月→12か月） ③ 集団健診（イオン、セリーズなど6地区・延べ22日程）1,500名受診。（前年度比▲55名） 特定健診DM（①市町村集団健診 7月8,764人②未受診者最終勧奨 1月12,394人） ※健診全体の受診率は前年度69.5%（全国7位）、今年度69.5%（全国8位）と変わらず。	自己 評価	 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない

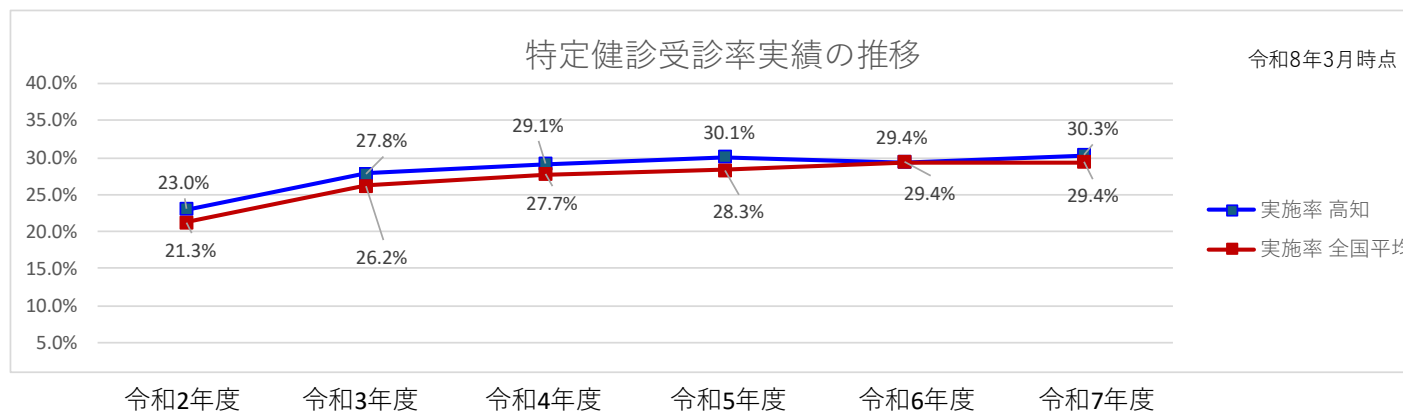
①



②



③



生活習慣病予防健診実績の推移

①

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者数 (40～74歳)		107,745人	108,460人	104,166人	104,640人	105,881人	106,359人
受診者数 (実績)		68,526人	71,214人	73,071人	73,636人	72,211人	73,317人
実施率	高知	63.6%	65.7%	70.1%	70.4%	68.2%	68.9%
	全国平均	51.0%	53.6%	56.4%	57.7%	58.4%	59.7%

事業者健診結果データ取得実績の推移

②

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者数 (40～74歳)		107,745人	108,460人	104,166人	104,640人	105,954人	106,359人
受診者数 (実績)		8,735人	6,624人	9,036人	8,928人	9,170人	7,707人
実施率	高知	8.1%	6.1%	8.7%	8.5%	8.7%	7.2%
	全国平均	8.0%	8.5%	8.8%	7.1%	7.2%	7.8%

特定健診受診率実績の推移

③

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者数 (40～74歳)		23,974人	23,136人	21,415人	20,360人	19,316人	18,014人
受診者数 (実績)		5,514人	6,432人	6,235人	6,120人	5,683人	5,452人
実施率	高知	23.0%	27.8%	29.1%	30.1%	29.4%	30.3%
	全国平均	21.3%	26.2%	27.7%	28.3%	29.4%	29.4%

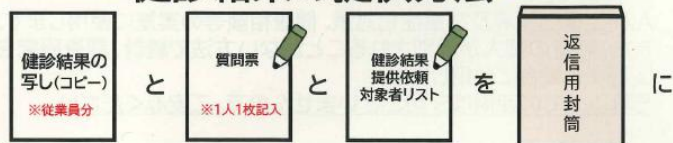
＼健診結果の提供は法律で定められています／

健診結果を ご提供ください

従業員様の定期健康診断結果のご提供をお願いします。
※生活習慣病予防健診を受診している場合は提出不要です。



健診結果の提供方法



入れてご返送をお願いいたします。

●質問票は必要人数分コピーいただき、ご記入ください。

定期健康診断結果には、必須項目が全て記載されていますか？

下記項目不足が多いため、要チェック！ ※必須項目は質問票(裏面)に記載しております

☐採血時間 ☐腹囲 ☐健診機関名 ☐医師の氏名

※必須項目が揃っていない・不備があった場合は確認のため連絡させていただくこともあります。



全国健康保険協会 高知支部

健診結果サポート窓口
ご不明点はお気軽にお問い合わせください
【受託業者情報】
CENTRIC株式会社
〒640-8044
和歌山県和歌山市板屋町2-2和歌山中央通りビル6F
TEL.03-6626-9988
CENTRIC株式会社は協会けんぽ高知支部との
業務委託契約締結をしております。

令和7年度

イオンで
買い物ついでに

先着順

NEW!

特定健診



乳がん・大腸がん検診同時実施

場所

イオンホール
高知市秦南町1丁目4-8
イオンモール高知2階
フロアガイドはこちら▶
イオンスタイル
との境目！



健診日程

10月 21日(火)	【受付時間】 10:00~12:00 12:00~13:00 14:30~15:30 ●乳がん検診実施日程 会場混雑緩和のため、受付時間を指定させていただきます。
10月 22日(水)	
●10月 23日(木)	
●10月 24日(金)	

料金

● 特定健診 **¥560**

● 大腸がん検診

● 乳がん検診 ※2年に一度の受診となります。

大腸がん検診自己負担金一覧表

高知市・いの町・須崎市・土佐市	無料
南国市(40・50・70歳以上無料)	¥400

乳がん検診自己負担金一覧表

いの町・土佐市	無料
須崎市	¥500
高知市(40歳代)	¥800
高知市(50歳以上)	¥900
南国市(40・50・70歳以上無料)	¥1,000

眼底検査を無料で実施！

固定式の眼底カメラ撮影により、眼底の血管や網膜の状態をみます。眼科疾患だけではなく、動脈硬化や高血圧・糖尿病による変化も見ることが出来ます。

※定員制となります。お申込みが定員に達した場合はお断りさせていただきます。ご了承ください。

健診結果でメタボのリスクが出始めた方に
特定保健指導のサービスを実施！

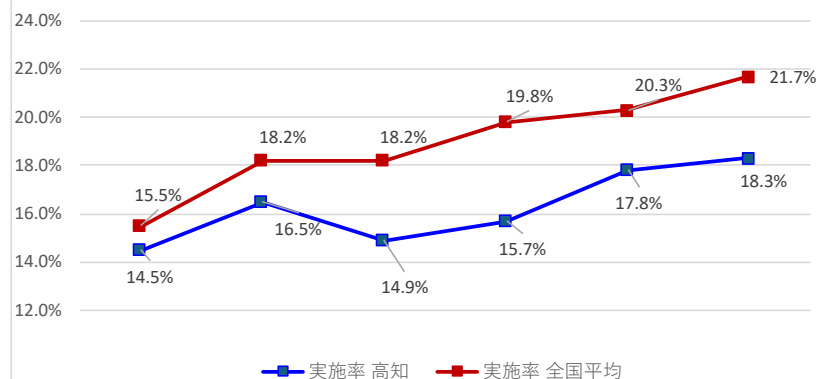
健診当日に保健師・管理栄養士が、あなたのライフスタイルに合った生活改善をご提案させていただきますので、ぜひご利用ください。
通常 8,000円~25,000円のサポートが **無料**

当日は希望者を対象に**お口の機能チェック**を実施！
咀嚼チェックガムで噛む力を判定します(無料)。

Ⅱ. 戦略的保険者機能（特定保健指導の実施率の向上）

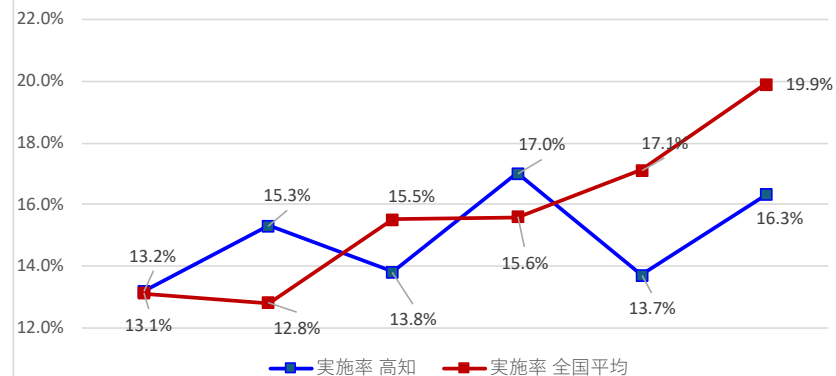
目的	特定保健指導の実施率を向上させることは、生活習慣病の予防や重症化の防止につながり、将来的な医療費の抑制に寄与する。		
KPI 目標	【保健G】 ① 被保険者の特定保健指導実施率 20.5 %以上 ② 被扶養者の特定保健指導実施率 20.6 %以上	KPI 結果	① 18.3 % ② 16.3 %
取組 内容	① <u>被保険者</u> ●事業所に対する保健指導の受け入れに向けたアプローチを実施。 ●健診当日の保健指導実施機関との連携強化による実施数拡大を図った。 ●特定保健指導専門機関と契約し、平日だけでなく休日や夜間の指導にも対応し利用拡大を図った。 ② <u>被扶養者</u> ●集団健診当日の初回面談実施について、契約健診機関へ働きかけを実施。		
評価 結果	① <u>被保険者</u> ●初回面談実施率10%以下の事業所を中心に訪問し、保健指導受け入れを依頼。（72事業所） ●主要指導機関を訪問し、健診当日の指導実施拡大を働きかける。（訪問7機関） 初回面談数1,797件（前年度比+808件） ●特定保健指導専門機関の委託先変更の影響（WEBのみ、訪問実施不可）により大きく減少。 初回面談数188件（前年度比▲437件） ② <u>被扶養者</u> ●集団健診当日の初回面談数115件（前年度比▲15件） ※保健指導全体では前年度17.7%（全国35位）から今年度18.2%（全国37位）。数値向上も順位は下がる。	自己 評価	 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない

①特定保健指導実施率（被保険者）の推移



令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度

②特定保健指導実施率（被扶養者）の推移



令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度

①特定保健指導実施状況（被保険者）の年度別推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者数 (40～74歳)		16,186人	16,033人	16,200人	16,508人	16,256人	16,499人
実施者数 (実績)		2,347人	2,643人	2,413人	2,588人	2,898人	3,021人
実施率	高知	14.5%	16.5%	14.9%	15.7%	17.8%	18.3%
	全国平均	15.5%	18.2%	18.2%	19.8%	20.3%	21.7%

②特定保健指導実施状況（被扶養者）の年度別推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者数 (40～74歳)		712人	764人	760人	728人	644人	608人
実施者数 (実績)		94人	117人	105人	124人	88人	99人
実施率	高知	13.2%	15.3%	13.8%	17.0%	13.7%	16.3%
	全国平均	13.1%	12.8%	15.5%	15.6%	17.1%	19.9%

Ⅱ. 戦略的保険者機能（重症化予防対策の推進）

目的	重症化予防対策を推進することで、生活の質の維持や医療費の増加抑制につながり、持続可能な医療制度の実現に寄与する。		
KPI 目標	【保健G】 健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合を対前年度（33.4%）以上とする	KPI 結果	33.8 %
取組 内容	① 生活習慣病予防健診実施機関での血圧・血糖未治療者への受診勧奨 （健診当日の受診勧奨 R6年度：1,700件 ⇒ R7年度：1,917件） ② 専門業者による未治療者への受診勧奨委託 ※P23チラシ参照 （文書勧奨 R6年度：4,941件 ⇒ R7年度：5,325件） ③ 直営保健指導者による受診勧奨（②での文書返送者等に対する最終勧奨） （電話勧奨 R6年度：226件 ⇒ R7年度：81件） （文書勧奨 R6年度：396件 ⇒ R7年度：721件） ※勧奨基準見直しにより電話減・文書増		
評価 結果	① 健診当日の受診勧奨について予算枠を拡大し、各健診機関の勧奨枠を増加させ、勧奨数を伸ばすことができた。 ② 専門業者と直営保健指導者による受診促進対策を強化し、医療機関への受診勧奨件数の増加を図ることができた。 ※前年度33.4%（全国27位）から今年度33.8%（全国31位）。数値向上も順位は下がる。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

病院での再検査はおすすめですか？



健診受診後の大切なお知らせです

高知支部_②血糖のみ該当 様



(30299311-100002 ◆)
A99202501-01-000002



全国健康保険協会 高知支部
〒780-8501 高知市本町4-1-24
高知電気ビル新館2階
TEL 088-820-6010
高知支部では本事業を
株式会社エム・エイチ・アイへ委託しています

令和7年度健診で **高血糖で「要受診」**と判定されたあなたへ

この間こんな
手紙がきたけど
症状がないのに
大げさじゃない？

今は忙しいし、
まだ大丈夫でしょ

それ、**からだからのサイン**を
見過ごしています！

そのままにしておくと、
将来の生活を大きく変えて
しまうかもしれません

「まだ受診されていない場合は」

今すぐ受診をおすすめします

協会けんぽ高知支部は みなさまの健康づくりを支援しています

あなたの健診結果はコチラ



あなたは
健診の結果

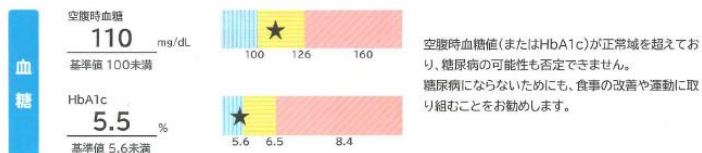
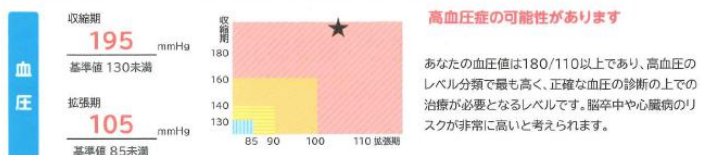
動脈硬化性疾患

からだからのサイン

健診受診年月日:

令和7年9月1日

基準範囲内 保健指導判定値を
超えるレベル 受診勧奨判定値を
超えるレベル すぐに医療機関の
受診が必要なしレベル
(厚生労働省の健診判定値)



Ⅱ. 戦略的保険者機能（コラボヘルスの推進）

目的	健康経営の取り組みを広げることで、従業員の健康増進と生活向上を図り、企業の持続的な成長や社会全体の活力向上が期待される。		
KPI 目標	【企画総務G】 健康宣言事業所数を 970事業所以上とする	KPI 結果	922事業所
取組 内容	●事業所カルテを活用した勧奨事業を実施（253事業所） ●事業所カルテ送付後に電話勧奨を実施（36事業所） ●小規模事業所など、事業所カルテが送付できない事業所へは業態別カルテによる勧奨を実施（226事業所） ※P25左チラシ参照 【事業所へのフォロー体制】 ●専門講師によるオンライン健康講座の実施（全体学習：60事業所、個別学習：11事業所）※P25右チラシ参照 ●保健事業等への協力依頼を行うために事業所訪問を実施（72事業所）		
評価 結果	●KPI未達成のため、自己評価「△」 ●支部全体による事業所訪問事業は「○」 ●R8年度KPI「1,000事業所」のため、上期から積極的な勧奨事業を実施する	自己 評価	△ ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない

業態別カルテ

2026年6月23日 作成

農林水産業

健康度カルテ【業態別】（40歳以上）

健康度カルテは、業態単位での健診・特定保健指導の実施率や、健診結果及び加入者の食生活や生活習慣について、数値やグラフ、レーダーチャート等で見える化した資料です。貴団体が属する業態の健診・特定保健指導の実施状況や、健康状態の現状（特徴）を把握する際の参考としてご利用ください。

<目次>

1. 医療費等の状況
 - 1人当たり医療費
 - メタボリックシンドロームの該当状況
 - 特定保健指導の該当状況
2. 健診・特定保健指導の状況
 - 健診の実施状況
 - 特定保健指導の実施状況
3. 生活習慣病リスク保有者の割合及び生活習慣要改善者の割合
 - 生活習慣病リスク保有者の割合
 - 生活習慣要改善者の割合

※提供したデータ等のご利用は、貴団体内に限りますようお願いいたします。

【資料（データ）の見方】

- ・折れ線グラフは、貴団体が属する業態の直近3年間の経年変化について「支部内（都道府県内）の事業所の平均」と「同業態の事業所の全国平均」との差を把握いただけます。
- ・生活習慣病リスク保有者の割合のレーダーチャートは、「支部内（都道府県内）の事業所の平均」と「同業態の事業所の全国平均」を100とした場合の相対的な立ち位置（相対値）になります。
- ・生活習慣要改善者の割合のレーダーチャートは、問診票の回答率について、「支部内（都道府県内）の事業所の平均」と「同業態の事業所の全国平均」との差を比較したことになります。

【本資料のデータ対象】

- ・以下の項目（※）を除き、被保険者の生活習慣病予防健診及び事業者健診（協会へ提供分）の受診者のデータ（40歳以上）を集計し、作成しています。
- ※被保険者1人当たり医療費：診療報酬明細書（レセプト）のデータを集計
- ※メタボリックシンドロームの該当状況及び6ページ以降：生活習慣病予防健診（35歳以上）及び事業者健診（40歳以上）の受診者のデータを集計
- ※被扶養者（ご家族）の健診受診率：特定健診（被扶養者）のデータを集計
- ※対象者が少数となるデータ等は、該当欄を非表示（「-」と表記）としています。

全国健康保険協会高知支部

オンライン健康講座

全国健康保険協会 高知支部「高知家」健康企業宣言事業所様限定事業
全体型「健康づくり講座」のご案内
 ～職場における健康づくり意識を啓発・支援する講座が満載～

受講
無料



全国健康保険協会 高知支部が自信をもっておすすめするオンライン配信の講座を、今年度も全4回ご提供します。

働き世代の皆様の健康課題を解決するため、講座を通じてご自身の状態を把握し、日常生活で取り入れられる知識やエクササイズを、実践的に学ぶことができるプログラムです。お気軽にお申し込みください。

セミナー名	知っておきたい アルコールと 健康	眼精疲労 すっきり セミナー	スリープ タフネス セミナー	知っておきたい がん予防
開催日時	令和7年9月17日(水) 14:00～15:00	令和7年10月16日(木) 14:00～15:00	令和7年12月8日(月) 14:00～15:00	令和8年2月25日(水) 14:00～15:00
申込期間	令和7年9月7日(日)必着	令和7年10月6日(月)必着	令和7年11月28日(金)必着	令和8年2月15日(日)必着

対象 「高知家」健康企業宣言事業所

開催形式 オンライン(Zoom)

お問合せ先

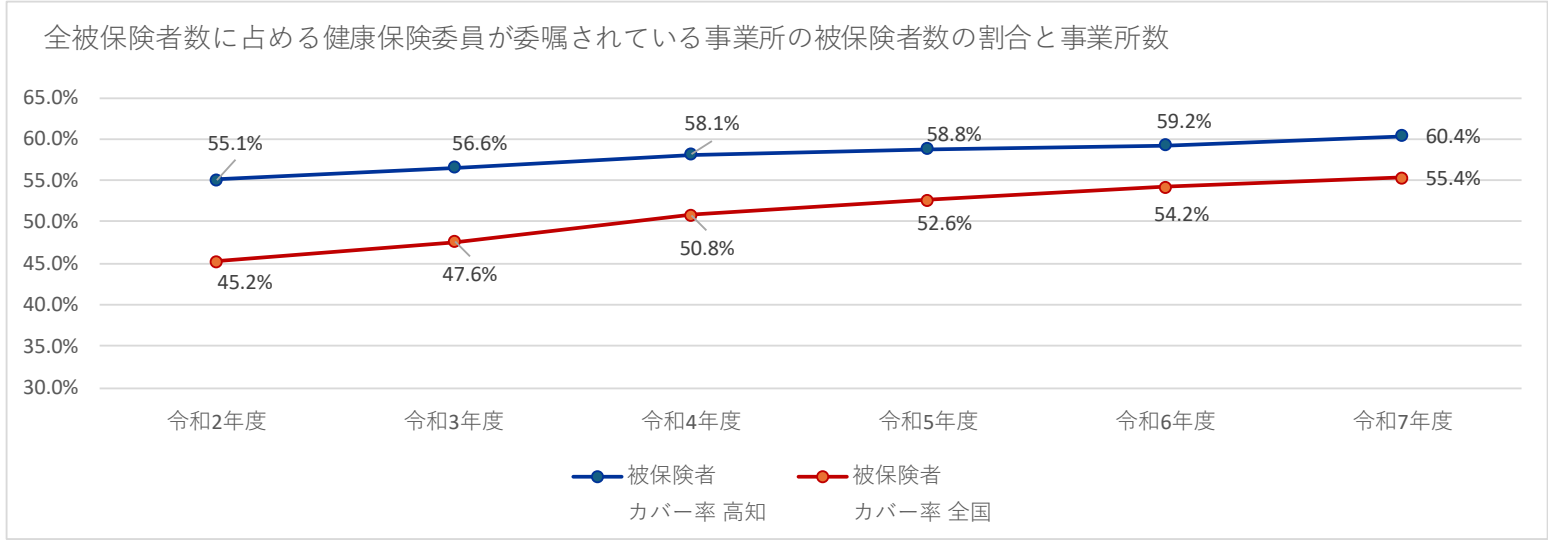
全国健康保険協会高知支部
 企画総務グループ
 tel.088-820-6010
 (自動音声流れたら「4」を押してください)

株式会社ルネサンス 地域健康推進部 事業サポートチーム
 全国健康保険協会 高知支部 健康づくり講座担当室宛
 tel.050-1724-6826
 (全国健康保険協会 専用回線)

複数回のご参加も
大歓迎!

Ⅱ. 戦略的保険者機能（広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進）

目的	健康保険委員の委嘱事業所数を増やすことで、保険制度の理解促進や職場での健康づくりの推進が図られ、加入者への周知・啓発がより効果的に行える。		
KPI 目標	【企画総務G】 ① 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を 59.3%以上とする ② 健康保険委員の委嘱事業所数を前年度（1,965事業所）以上とする。	KPI 結果	① 60.4% ② 2,040事業所
取組 内容	●新規適用事業所（372事業所）を中心に委嘱勧奨を実施。41事業所を委嘱した。（委嘱率：11%） 【健康保険委員へのフォロー】 ●年に4回の情報提供を実施 （内容：各種イベントの案内、季節の健康冊子、2026健康カレンダーの提供など） ●また、9月に、次年度事業の検討のため健康保険委員向けアンケートを実施 ③		
評価 結果	●委嘱者数、事業所数ともにKPIを達成。引き続き、健康保険委員を増加させる取り組みを行っていく。	自己 評価	◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない 



		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
委嘱者数	高知	1,753	1,923	1,982	2,061	2,120	2,213
	全国	218,205	253,626	288,836	320,669	353,239	373,156
被保険者 カバー率	高知	55.1%	56.6%	58.1%	58.8%	59.2%	60.4%
	全国	45.2%	47.6%	50.8%	52.6%	54.2%	55.4%
委嘱事業所数	高知	1,569	1,742	2,234	2,311	1,965	2,040
	全国	203,425	237,006	270,059	299,538	328,886	346,949

3 健康保険委員アンケート

【高知支部広報に関するアンケート】 FAX(088-820-6023)にてご回答ください。

◆ 高知支部の今後の事業の参考とするため、アンケートにご協力をお願いいたします。

1. 健康保険委員の皆様にお送りしている情報提供について、おたずねします。
(各質問で、ご意見に近い項目の数字を○(丸)で囲んでください。)

現在提供している(今年は3月・6月・9月に送付)、健康づくり・健康経営に関する情報誌(今回は「秋のけんこう」)や、健康づくりカレンダー(12月送付)についてご意見をお聞かせ下さい。

A:健康づくり・健康経営情報誌(今回は「秋のけんこう」同封)について

- ① 今後も継続して送ってほしい。
- ② ほとんど(または全く)読まないので、送らなくてよい。

B:健康づくりカレンダー(12月送付予定)について

- ① 今後も継続して送ってほしい。
- ② ほとんど(または全く)使わないので、他のものが良い。
- ③ 受け取ったことがないので、答えられない。

C:情報誌やカレンダー以外で提供してほしい情報(制度や健康づくり等)や広報物があればご記入ください。

()

2. 健康保険委員を対象にしたセミナー・勉強会を開催した場合、どんなテーマなら参加してみたいですか？(該当される項目に○を書いてください。)

- ①健康保険制度(ご希望のテーマ:)
- ②健康診断や保健指導の制度や利用方法
- ③日常生活で生かせる健康づくり情報
- ④興味が無い。または多忙のため参加が難しい。
- ⑤その他()

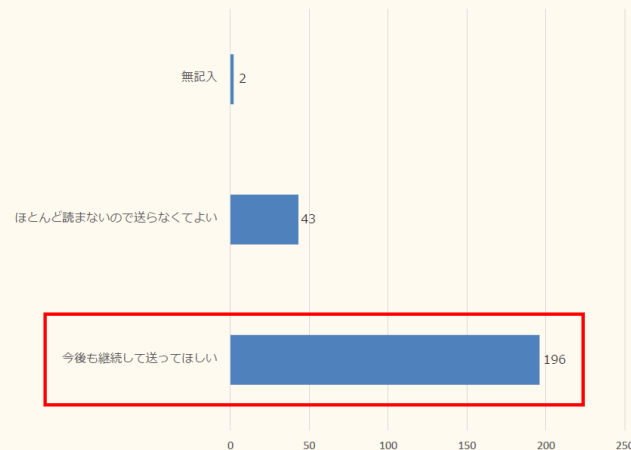
ご回答ありがとうございました。

※ご要望にお応えできない場合がございます。あらかじめご了承ください。

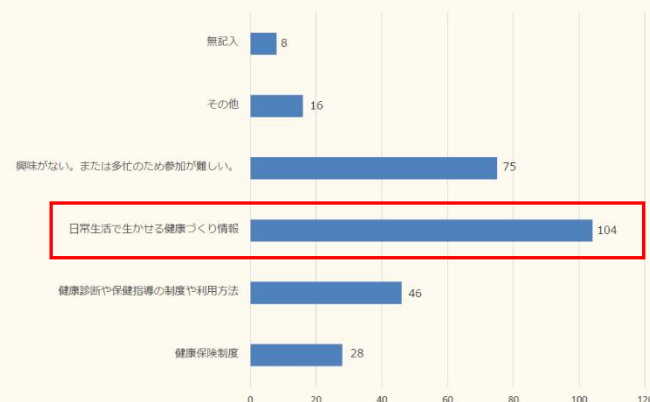
締め切り: 令和7年10月17日(金)

健康保険委員アンケート 令和7年9月～10月実施

健康づくり・健康経営情報誌(今回は「秋の健康」同封)について



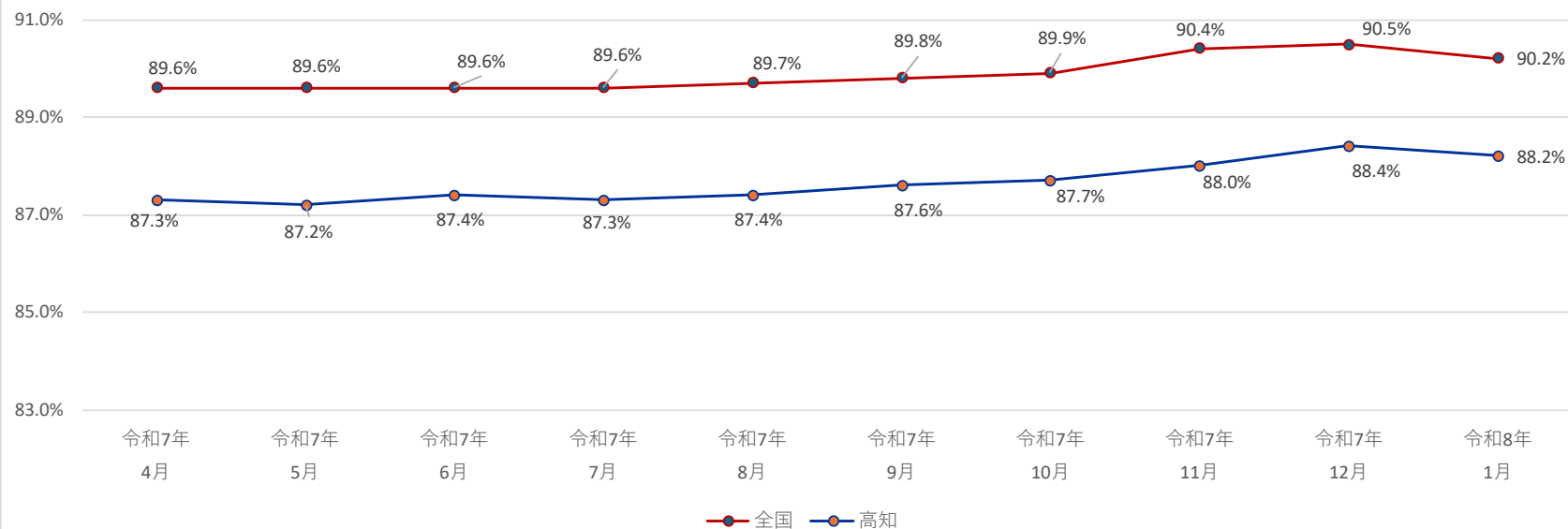
健康保険委員を対象にしたセミナー・勉強会を開催した場合、
どんなテーマなら参加してみたいですか？



Ⅱ. 戦略的保険者機能（ジェネリック医薬品の使用促進）

目的	ジェネリック医薬品の使用を促進することで、医療費の削減と患者の経済的負担の軽減につながり、持続可能な医療保険制度の確保に寄与する。		
KPI 目標	【企画総務G】 ①ジェネリック医薬品使用割合を年度末時点で 86.2%以上とする ②バイオシミラー使用促進事業を開始し、医療機関や関係者への働きかけを実施する	KPI 結果	①88.2% (R8.1月時点) ②実施
取組 内容	●お薬手帳ファイルを作成し、調剤薬局を通じて加入者に配付。（高知県薬剤師会との共同事業） ④ ●ジェネリック医薬品軽減額通知を送付し、効果的な使用促進を図った。（対象者：3,906名） ⑤ ●バイオシミラー使用促進事業について、医療機関ごとの使用割合データを作成し、医療機関訪問を実施した（5 医療機関および高知県薬務衛生課、高知県薬剤師会、高知県病院薬剤師会） ⑥		
評価 結果	●KPIは達成しているが、全国平均（90.2%）と比較すると使用割合が低いため、今後も継続した取り組みが必要	自己 評価	○ ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない

ジェネリック医薬品使用状況＜新指標による後発医薬品割合（数量ベース）＞



	令和7年 4月	令和7年 5月	令和7年 6月	令和7年 7月	令和7年 8月	令和7年 9月	令和7年 10月	令和7年 11月	令和7年 12月	令和8年 1月
全国	89.6%	89.6%	89.6%	89.6%	89.7%	89.8%	89.9%	90.4%	90.5%	90.2%
高知	87.3%	87.2%	87.4%	87.3%	87.4%	87.6%	87.7%	88.0%	88.4%	88.2%

專



18歳～74歳用

お薬代負担軽減のご案内



令和7年2月～4月に処方されたお薬を、ジェネリック医薬品に
切り替えた場合、 **1,054円** 程度お得になる見込みがあります。



ジェネリック医薬品の特長！



飲みやすく工夫されています！

①

先発医薬品より安くても、品質に劣りません！

お薬の効力は同等です。
お薬はもとの上質品に
は劣りません！

②

効き目や安全性も先発医薬品と同等です！

お薬の効力は同等です。
お薬はもとの上質品に
は劣りません！

③

飲み薬以外も、処方箋に記された「薬名」が「ジェネリック」であれば変更できます。

④

せんい病は「お薬1番」の処方箋をO.L.T.にてお取り換えし、元の薬になります。



ジェネリック医薬品は、さまざまな工夫により
お子様でも飲みやすくされているものがあります。



①

大きくて飲みやすい錠剤にしたり、お薬の味を改善したり

②

ナメカ丸を飲みやすい錠剤にしたり、お薬の味を改善したり

③

お薬の味を改善したり、お薬の飲みやすさを工夫したり

※処方されたお薬がジェネリック薬品に切り替えられるには、薬名の完全一致と薬の効力が一致する必要があります。
※お薬の効力や成分や製法・包装に違いが生じる場合があります。処方されたお薬とジェネリック薬品とを比較し、効力や成分・製法・包装に一致しない場合は、ジェネリック薬品に切り替えることができません。ジェネリック薬品とジェネリック薬品でないお薬とを比較し、効力や成分・製法・包装に一致しない場合は、ジェネリック薬品に切り替えることができません。

※ジェネリック医薬品に切り替えていただくには、お薬の処方箋を、薬剤科より発行していただく必要があります。

マイナポータルでも軽減可能機能が確認可能です



マイナポータル
から確認可能

マイナポータルカードを確認票として送る。確認票よりより良い薬が可能な！
ジェネリック医薬品の切り替えした薬の軽減可能額のお薬に、医療費助長金の削減も
同時にできます！お薬の費用は、薬局情報と医師情報と共有できます。

※ マイナポータルでの利用は、申込が必要です。

※ スマートフォンのマイナポータルがおすすめです。

※ URL: https://myna.go.jp/html/hoken/shoyou_top.html





#990021

[illegible]

31

Ⅱ. 戦略的保険者機能（インセンティブ制度の実施及び検証）

目的	インセンティブ制度への理解を広めることで、加入者の健康づくりへの関心が高まり、制度の効果的な運用や医療費の適正化が期待される。		
KPI 目標	【企画総務G】 KPI：設定なし 取り組み項目： ① 特定健診等の受診率 ② 特定保健指導の実施率 ③ 特定保健指導対象者の減少率 ④ 要治療者の医療機関受診率 ⑤ ジェネリック医薬品の使用割合	結果	総合 45位 ① 14位 ② 32位 ③ 47位 ④ 2位 ⑤ 43位
取組 内容	● 加入者及び事業主にインセンティブ制度の仕組みや意義を理解いただけるよう、丁寧な周知広報を行った。 ・高知商工会議所の会報誌にチラシを挟み込み（2,700部）⑦ ・高知県商工会連合会の会報誌にチラシを挟み込み（8,170部）⑧ ・高知県中小企業団体中央会の会報誌にチラシを挟み込み（400部）⑨		
評価 結果	● 加入者や事業主に取り組んでいただきたい内容を具体的に訴求できるチラシを作成し広報を行った	自己 評価	◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない ○



挟み込みリーフレット



Ⅱ. 戦略的保険者機能（地域の医療提供体制等へのデータを活用した意見発信）

目的	地域の医療提供体制等に関する会議で積極的に意見発信を行うことで、加入者の立場を反映させた医療体制の整備に寄与し、制度運営の透明性と信頼性の向上が期待される。		
KPI 目標	【企画総務G】 ・設定なし	KPI 結果	—
取組 内容	【協会けんぽが参加している主な会議】 ● 高知県医療審議会保健医療計画評価推進部会 ● 中央区域地域医療構想調整会議（中央区域・高知市部会、仁淀川部会、嶺北部会） ● 地域医療構想調整会議（安芸区域、高幡区域、幡多区域） ● 高知県保険者協議会 ● 高知県国民健康保険運営協議会 など		
評価 結果	【高知県医療審議会保健医療計画評価推進部会議での主な発言（一部抜粋）】 ・近年、高齢者の救急搬送増加が課題になっているが、特に高知県では今後さらに顕在化すると思う。高齢者の救急は、もちろん症状によるが、三次救急での対応が必要な症例は少ないと聞く。それが三次救急に回されると、その後の下り搬送が必要になるうえ、それで三次救急の病床が埋まってしまうと、本当に高度な医療が必要な患者の診療が阻害されかねない。少子化、高齢化による医療従事者の不足もあり、医療機能の分化、効率化は喫緊の課題だ。救急医療提供体制の機能分化、連携・集約を着実に進めてもらいたい。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

Ⅲ. 組織運営体制（組織・運営体制関係）

目的	組織体制の強化と人材育成		
KPI 目標	【企画総務G】 ・設定なし	KPI 結果	—
取組 内容	【更なる保険者機能の発揮に向けた人材の育成】 ●ハラスメント研修、情報セキュリティ研修、個人情報保護研修、コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修、ビジネススキル研修をすべての支部で実施 ●支部の独自研修として、外部講師によるロジカルシンキング研修を実施		
評価 結果	● 個人の能力向上により、残業時間は徐々に減少傾向にある。 ただし、グループ間で残業時間にばらつきがあるため、支部全体として残業時間をさらに削減できるよう、全体的な取り組みの検討が求められる。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

Ⅲ. 組織運営体制（費用対効果を踏まえたコスト削減等）

目的	一者応札を減らすことで競争性が高まり、費用対効果を踏まえた適正な価格設定が実現され、確実なコスト削減につながる。		
KPI 目標	【企画総務G】 一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、15%以下とする。	KPI 結果	0件/ 3 件
取組 内容	●入札案件においては、業者への声掛けの徹底、公告期間や納期までの期間の十分な確保、複数者からの見積書の徴取、仕様書の見直し等の取組を行うことで、多くの業者が参加しやすい環境を整えたことで、一者応札案件を0件にすることができた。		
評価 結果	●令和8年度も引き続き、上記の取り組みを徹底する。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○